



清 新

学校教育目標「清新の意気高く 明るく 強く 心豊かな子ども」

読書が育む力



10月5日(月)・6日(火)、5・6年生の図書委員の子どもたちが、朝学習の時間に各クラスを回り、読書月間の取り組みについて説明しました。ここから、読書月間が始まりました。

「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行されて約20年が経過しました。令和2年2月、千葉県教育委員会は現在の読書に関する状況を踏まえ、「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」を策定しました。その中に、『読書は、子どもの人生をより深く生きるために不可欠なもの』『読書の習慣を身に付けるためには、子どもが本の楽しさや魅力を感じることができる機会の充実が必要』『本に触れるきっかけがあり、手を伸ばすと好きな本や調べたい本がある。子どもと本をつなぐ取組や読書環境が本好きの子どもを育てる』と記されています。

「学校だより」10月号でもお伝えしたとおり、本校では約40年前から読書・図書館教育を推進してきました。読書を通して、言語に関する能力(読む力・書く力・話す力・聞く力)をはじめ思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力・想像(創造)力・感性等、さまざまな資質・能力を子どもたちに育みたいと考えております。年間の読書活動の柱となる読書月間において、コロナ禍で制約はあったものの、意義のある充実した活動ができたと感じております。新型コロナウイルス感染症が収束しましたら、現在活動を休止している図書ボランティアの活動や保護者の皆様による読み聞かせを再開していただきたいと考えております。読書・図書館教育の更なる充実のため、これからも保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

「読書郵便」2年生が各クラスに配達しました。

校長 小籠 宏



「先生のおすすめの本」紹介
「ふきじま版 本の総選挙」結果



「おはなし給食」読み聞かせ

6年生 ゲストティーチャーを招いて

これまで、さまざまな専門家の皆さんを招いて、それぞれの立場から「専門的な視点」で子どもたちに指導していただく学習を設けてきました。今年度は新型コロナウイルスの影響でこうした学習があまりできませんでしたが、感染防止策を講じながら今後も可能な範囲で実施していく予定です。ここでは、6年生がゲストティーチャーを招いて実施した学習を紹介します。

11月6日(金)は、『シェフ先生』。(右写真)他国との食生活の違いから、文化の多様性について学びました。

また、同13日(金)には市川警察署生活安全課の方を招いて『SNSいじめ防止教室』を実施しました。この機会に、ご家庭でもPCや携帯電話等の使い方について話し合っただけいただければと思います。



プログラミング教育

私たちの生活の様々な場面で活用されているコンピュータですが、より適切・効果的に活用していくためには、その仕組みを知ることが重要です。

小学校におけるプログラミング教育の主なねらいに「プログラミング的思考を養う」ことが挙げられています。これは、身近な問題や課題を見つけ、それらを解決するためには、どのような動きをどう組み合わせるべきかを論理的に考えていくことです。現在こうした学習を、各学年の発達段階に応じて実施しています。

◇12月の主な行事予定

日	曜	行事予定
1	火	5年 夢の教室①
2	水	5年 夢の教室②
3	木	委員会活動
8	火	集金日
10	木	6年 人権教室(千葉県弁護士会) クラブ活動
22	火	給食最終
23	水	短縮4校時日課(11時45分下校)
24	木	
25	金	短縮3校時日課(11時25分下校) 冬休みを迎える会